

平成 25 年度継続事業に関する継続評価書

研究機関 : 株式会社国際電気通信基礎技術研究所、
ルネサスエレクトロニクス株式会社

研究開発課題 : 電磁波エネルギー回収技術の研究開発

研究開発期間 : 平成 24 ～ 25 年度

代表研究責任者 : 小林 聖

■ 総合評価 : 適(適／条件付き適／不適の3段階評価)
(評価点 18 点／ 25 点中)

(総論)

具体的に目に見える形で成果が出ており、当初の計画通り順調に研究開発が進んでいると判断できる。

今後、十分な成果が期待できることから、引き続き研究開発を推進すべきである。

(コメント)

- 具体的に目に見える形で成果が出ており、当初の計画通り、順調に研究開発が進んでいると判断できる。
- 今後の計画も詳細に検討されており、十分な成果が期待できる。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況

(SABCD の5段階評価) : 評価 A

評価点 : 4点

(総論)

当初の計画どおり、順調に研究開発が進んでおり、目標は十分に達成可能と判断できる。
成果が具体的に目に見える形で出てきており、評価できる。

(コメント)

- 当初の計画通り、順調に研究開発が進んでおり、目標は十分に達成可能と判断できる。
- 今年度の成果が具体的に目に見える形で出てきており、高く評価する。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(SABCD の5段階評価) : 評価 B

評価点 : 3点

(総論)

予算計画に沿って、適切に執行されており、妥当である。

(コメント)

- 予算計画に沿ったものとなっている。
- 適切に執行されており、妥当である。

(3) 研究開発実施計画

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 4点

(総論)

検討すべき課題が明確化されており、有効かつ効率的な計画となっている。

今年度の結果を反映して研究開発計画の適正な修正が行われており、十分な成果が期待できる。

(コメント)

- 検討すべき課題が明確化されている。
- 効率的な計画となっており、目標達成に有効であると認められる。
- 今年度の結果を反映して、計画の適正な修正が行われており、十分な成果が期待できる。
- 複数候補のある技術については、早期に選択を行い、集中的に成果を出すことを期待する。

(4) 予算計画

(SABCD の5段階評価) : 評価B

評価点 : 3点

(総論)

適正な予算計画となっており、妥当である。

(コメント)

- 適正な予算計画となっていると認められる。
- 期間が限られているので、方式選択を早期に行うなど、引き続き効率的な予算執行に努めてほしい。

(5) 実施体制

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 4点

(総論)

各組織の責任と分担が明確になっているとともに、緊密な連携を行っており、目標達成が十分期待できる体制となっている。

(コメント)

- 各組織の責任と分担が明確であり、緊密な連携を行っていると認められる。
- 目標達成が十分期待できる実施体制となっている。